

既設光ファイバ網に適する超高速・長距離光伝送技術の開発（三菱電機株式会社）平成16年度中間評価結果

項目	評価	所見	再評価	再所見
総合所見	A	<p>技術的側面では、個々のサブテーマに関しては、最終目的の達成へ着実な進歩が見られる。技術的なハードルが高かった誤り訂正符号 LSI についても、不確定な要素がほぼ取り除かれている。これらを総合した光送受信機は次世代技術を結集した形に仕上がっており、完成度も高い。中間目標の達成度・今後の方向性の両面で大きな問題点は見当たらない。</p> <p>事業化側面では、同社が一定のシェアを獲得している WDM 光伝送事業における次世代の主力製品としての事業化戦略であり、当該事業部門の製品ロードマップとして組み込まれるなど、事業化計画における確度は高い。</p>		